小倉革正會は從來八幡の官勞同志會と共に官勞九州同盟會として九州協議會に加盟してゐたのであるが、同志會が解體して製鐵勞働聯合會と合體して日本製鐵從業員組合を結成したので、小倉革正會を勸誘して、大會までに正式代議員を出席せしめることにし、本委員會の決議を以て先づ加盟勸誘の文書を送り、更らに委員を派してこれを實現せしめる。

會計報告

自昭和七年十月
至昭和八月十月

收入之部

一金壹百拾四圓也　加盟費

支出之部

一金八拾壹圓拾五錢也　內譯
一金參圓拾四錢也　結成大會費用
一金五圓九拾七錢也　通信及交通費
一金四拾五圓也　常任書記手當十三月分
一金貳拾圓也　故西、今岡兩氏葬儀弔花代
一金七圓四錢也　文房具費
差引殘高　金參拾貳圓八拾五錢也

加盟組合の改組

この二年に、わが九州協議會加盟團體にその陣營強化の二つの大きな改組が行はれた。その一つは官業勞働總同盟同志會と日本製鐵勞働組合聯合會の合同に依る日本製鐵從業員組合の結成であり、他は全日本港灣從業員組合聯盟の單一組織化であつた。

從來同志會と鐵聯は夫々別個にわが九州地方協議會に加盟してゐたが、第六十四議會に於て所謂製鐵官民合同法案が成立し日本製鐵株式會社の設立を目前に控へ、製鐵所が營利經營になれば從業員の勞働條件、福利共濟施設も國營時代と異ることも起り得ることを見越し、本春一月より前後四ケ月に亘る製鐵官民合同反對の全從業員の自主的鬪爭の體驗に鑑み、强力なる全從業員の組織と結束を以てその生活權を確保し、全從業員の製鐵國營の信念を實踐の上に反映させるため、同志會と鐵聯を合同し、從來は兩組合に關係のなかつた從業員大衆も製鐵官民合同反對同盟を通じて合體し、茲に製鐵所全從業員が翹望してゐた製鐵所勞働組合の單一化が實現されて去る八月二十六日八幡市壽座に於て日本製鐵從業員組合の結成大會が擧げられた。わが九州地方協議會は製鐵所全從業員の將來の福利のため、日本の製鐵產業の前途のため日本製鐵從業員組合の結成を心から祝し、代表者を派してその結成會に祝辭を送つた。日本製鐵從業員組合は直ちに日本勞働組合會議に加盟し、わが九州地方協議會へ參加の手續をとつた。わが九州地方協議會加盟團體に在幡兩團體の名稱が消へ、新しき組合一つになつたけれどもその陣容の充實、整備は新勢力を數倍化して健實なる勞働組合主義徹底の九州地方に於ける聖戰にこの新鋭の戰友を得たことは欣慶に堪へない。

更らに日本港灣從業員聯盟は門司海友同志會、戸畑海友同志會、山口縣海友同志會として九州地方協議會に加盟してゐたが全國的統制の緊密化と陣容强化のため單一組織化を實現して去る九月二十二日神戸市に於いて日本港灣從業員組合の結成大會を開催した。全國的統制と緊密なる連絡の許にその壓力を增大した日本港灣從業員組合は夫々戸畑支部、門司支部、山口縣支部としてわが九州地方協議會の重大支柱を構成し、九州地方の健實なる勞働組合主義の城砦は愈々强化して健全なる發展を積けてゐる。

製鐵所當局と折衝

十月二十八日の第三回委員會の決議に基き、十月三十一日午前十時久保田委員長と伊藤書記長は製鐵所本事務所に磯谷勞務